

静岡県知事
鈴木 康友 様

要 望 書

2024 年 6 月 14 日
多目的ドーム型スタジアム
建設促進期成同盟会

要 望 書

遠州灘海浜公園篠原地区への県営野球場建設について、浜松地域は長年、県に対し早期実現を要望してきました。

先般、県は遠州灘海浜公園篠原地区の整備について、パブリックコメントを実施し、基本計画の素案として3つの案を提示しました。提示された案のうち「屋外型」は、いずれもナイター照明がなく、利用時間が限られることや、天候の影響を受けることから、利用者にとって使いにくく利便性が低い施設となります。

一方、「多目的ドーム型」は、市の天然記念物であるアカウミガメなど自然環境に配慮しながら、天候に左右されない点が最大の利点です。さらに、野球をはじめとした様々なスポーツやイベントなど、幅広い用途に活用が可能な「多目的ドーム型スタジアム」にすることで、高い稼働率が見込まれます。

そのため、本市はこれまで県に対して「多目的ドーム型スタジアム」の建設を強く要望してまいりました。本年5月には、要望内容に即して、期成同盟会の名称を「多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会」に変更したところです。

「多目的ドーム型スタジアム」周辺に道の駅を設置し、JR 高塚駅北口の再開発とも連動することにより、スポーツ施設と周辺地域が一体となった「まちづくり」が実現し、交流人口の拡大や賑わい創出が図られ、県西部地域に限らず県全体の活性化や発展につながります。

以上のことから、「多目的ドーム型スタジアム」の建設について、次の事項を強く要望いたします。

記

1. 自然環境に配慮し、天候に左右されない多目的ドーム型スタジアムの建設を早期に実現すること
2. 野球以外の幅広いスポーツやイベントも開催が可能な仕様にする
こと
3. プロ野球も開催できる 22,000 人規模とすること

2024 年 6 月 14 日

多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会

会 長 浜松市長

中野 祐介

副会長 浜松市議会議長

鳥井 徳孝

副会長 浜松商工会議所会頭

斉藤 薫

副会長 浜松市自治会連合会長

廣野篤男